

令和2年度第1回射水市協働のまちづくり推進会議 会議録

1 開催日時

令和3年1月26日(火) 午前10時から午前11時15分

2 開催場所

射水市役所2階 201会議室

3 出席者

委員 奥 敬一会長、宮田雅人副会長、春日哲男委員、神村 佑委員、
松本吉晴委員、高橋清美委員、町野美香委員、三浦美樹委員
(8名中、8名出席)

事務局 板山市民生活部長、塩谷市民生活部次長、松下地域振興・文化課長、
藤井課長補佐、橋本主任、白石主任

4 欠席者 なし

5 議題及び会議結果

開会

板山市民生活部長挨拶

委員の紹介

昨年度から委員2名の交代があったため、改めて委員8名を紹介した。

議題

射水市における市民協働の取組について

射水市における市民協働の取組について、事務局から説明した。

提案型市民協働事業について

ア 提案型市民協働事業の評価結果について(平成31年(令和元年)度)

提案型市民協働事業の評価結果について、事務局から説明した。

イ 公募提案型市民協働事業審査会の委員の選任について

公募提案型市民協働事業審査会の委員の選任について、事務局から説明した。

その他

閉会

6 会議資料

| | |
|-----|---------------------------|
| 資料1 | 射水市における市民協働の取組について |
| 資料2 | 平成31年（令和元年）度提案型市民協働事業評価結果 |
| 資料3 | 公募提案型市民協働事業審査会の委員の選任について |
| 参考1 | 令和2年度事業報告会・令和3年度審査会資料 |
| 参考2 | 公募提案型・地域提案型市民協働事業採択一覧 |
| 参考3 | 射水市内NPO法人一覧 |
| 参考4 | 射水市協働のまちづくり推進会議設置要綱 |
| 参考5 | 射水市協働のまちづくり推進会議委員名簿 |

7 会議の経過（要点）

射水市における市民協働の取組について

【委員】

地域振興会が設立されて十数年経過しているが、総括がなされていない。これまでの経過を総括し、今後に臨む必要があるのではないかと。

次に、地域振興会職員応援団についてだが、地域においては、運営はできているが、企画力に乏しいように思う。企画力を身につけ、広めていくために市職員のノウハウを積極的に提供していただきたい。現役の職員だけでなく、退職者の方もおられるので、そうした方の力を地域振興会へ注いでいただきたい。

また、後継者の育成が課題となっている。例えば、後継者育成の観点から、各種委員に年齢制限を設けるなど、行政がリードする形で取り組んでいただきたい。

【事務局】

総括については、節目をとらえて各地域の状況確認を行いたい。

地域振興会職員応援団については、市職員の退職者が地域振興会に入ることによって活動の活性化につながった地域もあり、取り組んでいきたい。

後継者の育成については、年齢制限を設けるなど、制度的に交代を促すような仕組みづくりも検討していきたい。

【委員】

総括については、多目的に行う必要があると思う。

各地域振興会にアンケートを実施し、後継者や企画力のある人材の有無、職員との連携状況など、地域全体の状況を確認することで、その地域の弱い部分を応援していくこともできるのではないかと。

【委員】

射水まちづくり大学同窓会のメンバーで案を出し合い事業を展開しているが、皆様からも提案をいただければありがたい。

提案型市民協働事業について

ア 提案型市民協働事業の評価結果について（平成31年（令和元年）度）

【委員】

各事業におけるイベント等の開催日や開催日数、参加者数についてもう少し詳しく報告してもらおうといいのではないか。

【事務局】

イベント等を開催したものについては開催日を記載しているが、参加人数は記載していない。次年度以降、参加人数が把握できるものについては評価に加えられるよう工夫したい。

【委員】

広く市民へ周知するために、積極的にマスコミを活用すべき。事業主体からだけでなく、市からもマスコミへ働きかけてもらいたい。

【事務局】

事業担当課とも連携し、PRに努めていきたい。

【委員】

事業評価については、事業主体となる団体と所管担当課によって実施されていることから、主観的な評価になると思う。客観性の担保として、地域振興・文化課はどのように係わっているのか。

また、評価項目のV自立性・持続性がa評価となっている事業が多い。先ほど後継者の話もあったが、どのように取り組むことで自立性・持続性が期待できるのか、市民協働事業に限らず、各団体の取組を地域振興会等へ周知することで市全体の元気につながるのではないかと思う。

【事務局】

担当課へ事業評価の方法について細かく指導しており、また、地域振興・文化課においても内容を確認していることから、評価の公平性・公正性については問題ないと考えている。

また、各団体のノウハウを教えていただき、水平展開できるように工夫していきたい。

【委員】

問題解決のヒントやカギになることも考えられるため、この事業で得た情報を発展的に活用していけるような取り組み方を検討してもらいたい。

また、お互いに発展していくために、各団体に対して市がどのように支援し、情報をサポートしていくか、今ある資源を有効活用するために工夫を凝らす必要があると思う。

【委員】

ネットワークの構築についてはこれからだと思うが、今後の提案型市民協働事業の発展に向けて検討してもらいたい。

【委員】

この事業は、協働事業であることがポイント。各団体が単独ではなく、市の担当課と連携して実施するものである。そのため、今後、担当課が事業をどのよう

に育てていきたいのかという視点も必要ではないかと思う。

次回からは、市として、事業をどのように発展させていきたいかについても記載してはどうか。

イ 公募提案型市民協働事業審査会の委員の選任について

奥会長、春日委員、松本委員、高橋委員の4名が選任された。

【委員】

報告会は、その年度に採択された全ての事業が対象か。

【事務局】

報告会は昨年度から実施しており、その年度に採択された全ての事業が対象である。

【委員】

この報告会以外に、報告や情報発信する機会はあるのか。

【事務局】

ケーブルテレビや市のHPで情報発信している。

【委員】

様々な形で情報発信できるとよい。例えば、射水市まちづくり関係団体活動展への出展を必須化するなど、皆様の目に触れる機会が増えるようにしていくとよい。

【事務局】

射水市まちづくり関係団体活動展の内容充実にもつながり、提案型市民協働事業に取り組んだ団体の実績を広く周知する上でも重要であると思う。来年度以降、積極的に参加していただけるようお願いしていきたい。

【委員】

募集要項に加えてはどうか。

【事務局】

募集要項には、事業報告会などへの協力について記載している。要項に加えることについて検討したい。

【委員】

射水市まちづくり大学同窓会からも出展を働きかけてはどうか。

【委員】

事業の成果がなるべく多くの方の目に触れるように配慮していただきたい。

その他

【事務局】

報告会・審査会や射水市まちづくり関係団体活動展を開催するので、参加していただければありがたい。

【委員】

コロナや除雪対策で大変だが、一人ではどうにもならない。これからも困難は続くと思うが、皆で協力して取り組んでいくことが非常に大切だと思う。

【委員】

コロナ対策としてZOOMでオンライン会議を行った。プラスの面での変化もあったと思う。

【委員】

会議の感想になるが、広報や周知が行き届いていないように思う。「人を動かす」というのは非常に難しいこと。多くの方に参加していただき、持続していく事業が増えていくとよい。

【委員】

以前、採択を受けて事業を実施したことがあるが、その時には報告会がなかった。報告会が実施されるようになってよかったと思う。

【委員】

以前、東京にいた頃に行政から採択を受けて事業を行ったことがあり、また、審査員を務めたこともある。情報発信の難しさや人手の確保に苦労することは共通しているように思う。自分の経験がお役に立てればと思う。

【委員】

射水市観光協会がクロスベイ新湊に移転した。新しい施設にはオープンスペースがあり、交流の場所となっている。どのような人が来るのかと見ていたが、非常に多くの中・高生が勉強しに来ていることに驚きを感じた。このような場所を求めている人がいるということになると思うが、協働事業関係につなげられる部分もあるのではないかと思う。

また、情報の発信と共有が非常に大事だと思う。射水市まちづくり大学同窓会の活動と連携しながら、情報の発信と共有を図っていただきたい。

そのほか、各事業においては、成果もあれば反省もあると思うので、どちらもしっかりと検証し、以降につなげていただきたい。

【委員】

マスコミの活用と後継者の育成を結び付けたいと考えている。新聞記事を切り取って会合で紹介し、声掛けをしたり、やる気を引き出したりできるよう日常的に取り組んでいる。後継者の育成は地道な活動の積み重ねだと思っており、自分のできることから取り組んでいきたい。

また、コロナによって自粛せざるを得ない状況にあるが、自粛続きで一人ひとりの気持ちが萎縮してはいけない。このような時こそ萎縮せず、前を向いていく必要があると思うので、行政からの協力もお願いしたい。

午前11時15分閉会